

都市再生整備計画 事後評価シート
武雄温泉駅周辺地区

平成27年3月

佐賀県武雄市

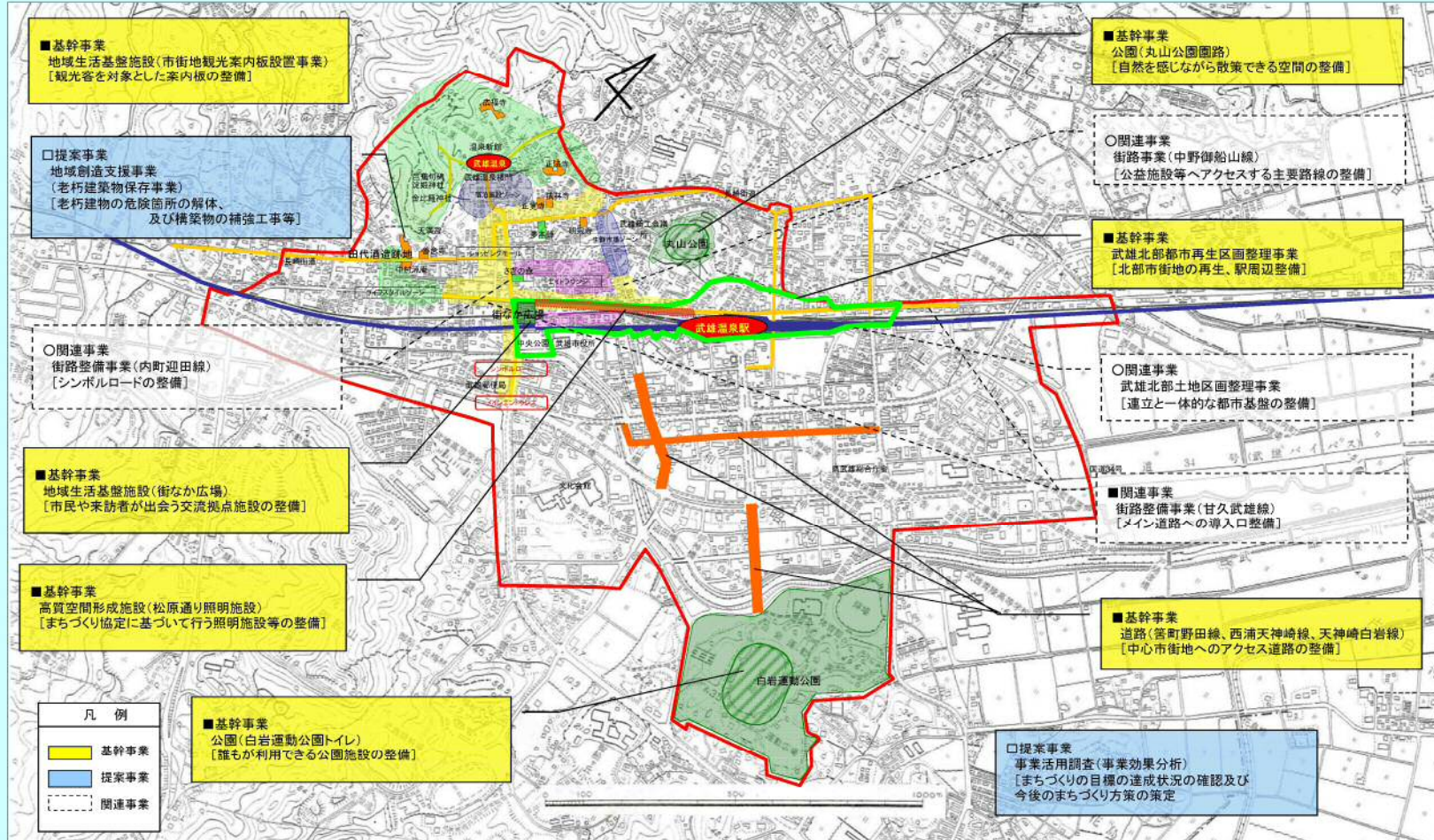
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	佐賀県	市町村名	武雄市	地区名	武雄温泉駅周辺地区			面積	197ha				
交付期間	平成22年度～平成26年度	事後評価実施時期	平成26年度	交付対象事業費	450百万円	国費率	0.4						
1)事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(管町野田線、西浦天神崎線) 地域生活基盤施設(観光情報板、街なか広場) 土地区画整理事業(武雄北部)										
		提案事業	地域創造支援事業(街なみ景観整備事業、商店街空き店舗活用推進事業)										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
		提案事業	地域創造支援事業(街なみ景観整備事業、商店街活性化支援事業)		街なみ景観:基幹事業(高質区間形成施設)にて整備するため削除 商店街活性化支援:計画期間での実施が見込めないため削除		影響なし						
	新たに追加した事業	基幹事業	道路(天神崎白岩線) 公園(白岩運動公園トイレ、丸山公園園路) 高質空間形成施設(松原通り照明施設)		天神崎白岩線:段差解消による安全な歩行者環境整備を目指し追加 白岩運動公園トイレ:安全安心な公園施設を整備するため追加 丸山公園園路:自然を感じながら散歩できる歩行空間づくりのため追加 松原通り照明施設:提案事業(街なみ景観)を検討協議し、事業内容を見直したため追加		天神崎白岩線:段差解消により歩行者等の交通量が増加 白岩運動公園トイレ:影響なし 丸山公園園路:園路整備により歩行者等の交通量が増加 松原通り照明施設:影響なし						
提案事業		地域創造支援事業(老朽建築物の解体及び保存事業) 事業活用調査(事業効果分析)		老朽建築物:対象建築物に補強などを行い、景観を保存するため追加 事業効果分析:事業効果の専門的な分析のため追加		影響なし							
交付期間の変更	当初変更	平成22年度～平成26年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		影響なし							
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	モニタリング	評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	歩行者等通行量	人・台/12時間	481	H21	498	H26	—	755	○	あり なし	区画整理事業や街路整備により、歩行者の安全性が確保された。また、公園、地域生活基盤施設などの整備により、駅や周辺からの観光客をスムーズに誘導できた。これに伴い、中心市街地の歩行者交通量も増加した。	—
	指標2	空き店舗比率	%	13.6	H21	11.0	H26	—	11.0	○	あり なし	区画整理事業により広幅員の歩道が整備された。また、高質空間形成施設や地元商店会の景観活動等により歩行空間が整備され、松原通りの魅力が向上した。これに伴い空き店舗率の減少につながった。	—
	指標3	中心市街地の満足度	ポイント	3.0	H21	4.0	H26	—	3.5	△	あり なし	評価値測定時点では一部事業が完了しておらず、地元の居住者や商業者に対する効果も十分にできていない。しかし、歩行者の安全性などの項目については一定の評価を得ており、事業効果が出始めているものと考えられる。	H28.6
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1	観光客数	千人/年	1,675	H21	/		—	1,805	/		区画整理事業や他の基幹事業による歩行空間整備や1次計画で実施された施設及び関連事業の継続効果により、平成24年の時点で1次計画終了時に達成できなかった目標値を大きく上回った。	—
	その他の数値指標2	車両交通量	台/12時間	10,531	H21	/		—	11,471	/		区画整理事業や街路の整備により、車歩道の安全が確保され、公園、地域生活基盤施設などの整備により、市外や周辺からの車両をスムーズに誘導できた。これに伴い、中心市街地を往來する自動車等の交通量も増加した。	—
4)定性的な効果発現状況	なし												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				—					
	住民参加プロセス	地域住民と行政で組織する「武雄市中心市街地まちづくり研究会」を開催し、地域活性化の為に研究を行い、持続的なまちづくり体制の組織化に発展した。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今後も住民の直接的な意見を聞く場として、事業中だけでなく定期的に会合を開催し、他の持続的な組織への移行を図る。					
持続的なまちづくり体制の構築	計画区域内の住民の自主的なまちづくりを行うことを目的とした「松原地区まちづくり検討会」が設置され、統一感のある街並み景観の形成を目的とした協定を締結した。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 住民の主体的な活動にまかせ、市は後方支援に徹する。						

様式2-2 地区の概要

武雄温泉駅周辺地区(佐賀県武雄市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
武雄温泉と周辺の地域資源を活かした、中心市街地の賑わいと交流のあるまちづくり 目標1:新しい交流拠点を創出し、中心市街地への交流促進を図る。 目標2:中心市街地の商業地としての魅力を高め、商店街の再生を図る。 目標3:温泉と周辺の地域資源を活かし、魅力ある温泉街づくりを目指す。	歩行者等通行量	単位:人・台/12時間	481	H21	498	H26	755	H26
	空き店舗比率	単位:%	13.6	H21	11.0	H26	11.0	H26
	中心市街地の満足度	単位:ポイント	3.0	H21	4.0	H26	3.5	H26



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・武雄温泉駅や周辺から中心市街地へ誘導する道路を利用し、行き交う観光客や車両の交通量が増加した。 ・道路や高質空間形成施設の整備、また地元商店会の景観活動等により趣のある歩行空間が整備され、商店街の魅力が向上しつつある。しかし、土地区画整理事業に伴う商業者の再建が進んでおらず、いくつかの空き地が残っている状態である。 ・歩行者が安全に通行できる歩道、園路に整備され、統一された外国語表記の案内板が設置されたことで、観光客をよりスムーズに誘導できるようになった。同時に外国人向けの観光プログラムの取り組みにより、多くの観光客が訪れるようになった。 ・周辺幹線道路の車歩道の段差を解消し、中心市街地で整備された道路と接続することで、多くの市民も中心市街地への道路を利用して往来するようになった。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・主たる基盤整備はほぼ完了し、景観の取り組みも浸透しつつある。賑わい持続の取り組みは、地元商店会や住民が主体的な活動を行い、市は後方支援に徹する。 ・新たな観光客やリピーター確保のため、更なるまちの魅力向上に向けた活動の推進や、より積極的なまちづくり情報の発信等を支援する。 ・事業完了後も住民が自主的に参加できるまちづくりワークショップ等を開催し、持続的なまちづくり団体への移行を図る。